

夜間保育の役割本に

京で発祥 多様な家庭環境対応

京都が発祥の地である夜間保育の取り組みを紹介した本「夜間保育と子どもたち」が出版された。全国の保育園職員や保護者、専門家らが、これまでの歩みや経験を振り返り、多様な家庭環境に対応する夜間保育の役割を語っている。

全国園連盟、30周年で出版

64の認可園でつくる全国夜間保育園連盟(大阪 ぼす)という偏見に負けず、情熱を持って運営して制作した。夜間保育を続けてきたエピソードは約60年前、長時間働く母親を支援しようと、京都府左京区のだん王保育園が全国で先駆けて開始した。創設者の故・信ヶ原良文さんは連盟の初代会長を務めた。

本の第一部では、園の経営者が「夜間保育は子どもたちの歴史を語っている」と語り、園の歴史を語っている。第二部では、だん王保育園の信ヶ原千恵子園長が、終戦後に寺を開放して始めた同園の歴史を語っている。

社会的意義 注目を

ほか、夜間保育の利用者が低所得のひとり親家庭から長時間労働の専門職まで幅広い。北大路書房 房075(431)0361。(大西幹子)

夫婦など多様化していることを解説している。同連盟の担当者は「夜間保育の社会的意義が注目されるきっかけになれば」と話す。四六判。2千円(税別)。



夜間保育園の取り組みを紹介した「夜間保育と子どもたち」(京都市下京区)



園(協)に学校賞

NTTドコモが中学生以下を対象に実施する全国絵画コンクール「第12回ドコモ未来ミュージアム」で、城陽市寺田の白鳥幼稚園が「学校賞」を受賞し、9日と同園で授与式が行われた。

授与式では園児代表の4人が担当者から賞状やトロフィー、賞品目録を受け取った。(柿木拓洋)

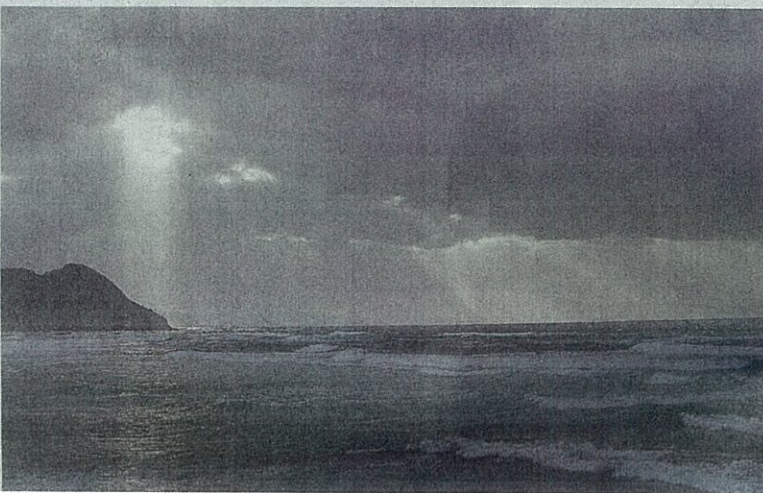
京天と地と人

39

光芒

冬になると、北海道東湯煙が立ち上りますが、沖の千島列島付近に発達した低気圧が停滞し、西高東低の気圧配置となり、このとき日本付近では南北に等圧線がのびて、大陸から北西の季節風が吹きつけます。

この風は、もとは冷たく乾燥していますが、日本海側の地域に雨や雪をもたらします。風が日本海を渡る間に水蒸気の供給を受け、湿気を帯びた性質に変わるためです。海面では蒸発により水蒸気が生じますが、これが冷たい空気に触れると凝結(気体が液体になる変化)し、細かな水滴となって大気中を漂ったり、そこで再び蒸発して水蒸気に戻ったりしています。



寒くなると、吐く息は白く見え、露天風呂では

日本海に降り注ぐ光芒。冬によく見られる(京丹後市網野町掛津)

た京野菜の卸売会社を売る「直売祭り」を「キシノウ」と京都市開く。京滋や兵庫、和歌山の市民団体「京都の食と農を考える会」が22日、県の農家など七つのテ